

ま え が き

徳島県中学校教育研究会数学部会の会員の先生方におかれましては、「未来社会を展望し確かな学力を育む数学教育」の研究主題のもと、日々生徒との授業に精魂を傾けられていることに心より感謝と敬意を表するところです。

本部会の研究委員会では、基礎・基本の定着を目指した学習指導の研究を3年間続けてきましたが、本年度からはさらに深めるため、

「数学科における絶対評価」—— 観点別評価の評価方法と評価規準 ——
というテーマで研究に取り組んでおります。

評価については、後の指導計画や指導方法の研究には欠かせないものだと分かっているけれども、日ごろの実践においては資料の収集や保存、検討がなかなかできず、勘に頼っていたという反省を私自身はしております。しかし、指導要領の改訂にともない、指導要録が相対評価から絶対評価へと大きく変わり、避けては通れない重要課題となってきました。

各学校におかれましても、一人一人が単元の観点別評価規準を考え、また、授業ごとに何点かの観点別評価基準を作成し、工夫しながら評価に当たっていることと思います。

本研究委員会では、今年度は研究テーマにそって、観点別評価に適した問題の作成や指導案に評価の実践例を組み込む研究を各都市の研究委員の先生方を中心にまとめ編集をしてきました。

一人でも多くの先生方が本誌を活用し、それぞれのアイディアを生かし、本誌の研究内容をさらに深化し拡充していただけるものと信じております。そして、先生方の協力によって、難しいと感じてきた評価の課題が一人一人にとって軽減化され、また、生徒の学習意欲の高揚や教師の次の指導の方向付けがすっきりとできるようにしていけることを期待しております。

終わりにになりましたが、本誌編集にご尽力いただきました研究委員の先生方、事務局の先生方に厚くお礼を申し上げ、発刊の言葉といたします。

平成 16 年 4 月

徳島県中学校教育研究会数学部会
会 長 吉 田 忠 彦

目 次

1. 各学年の評価の観点の趣旨	1
2. 観点別評価の評価方法とその考え方	2
3. 単元の評価に関する指導事例	
(1) 正の数・負の数（1年）	鳴門第一中学校 天満 洋介4
(2) 文字の式（1年）	川内中学校 小原 伸二7
(3) 一次関数（2年）	貞光中学校 佐古 晴輝9
(4) 図形の調べ方（2年）	牟岐中学校 笹田 晋介13
(5) 平方根（3年）	阿南中学校 喜多 一郎16
(6) 二次方程式（3年）	鳴門第一中学校 天満 洋介18
(7) ○×ゲーム（選択数学）	阿南中学校 喜多 一郎20
4. 観点別評価のための評価規準とその問題例	
1 学年	23
	市場中学校 梯 泰三
	加茂名中学校 柳本 恵子
	佐那河内中学校 島田 信治
2 学年	29
	池田中学校 中上 斉
	上板中学校 清水 優樹
	立江中学校 宮田 和代
	勝浦中学校 平井 正美
	城東中学校 植田 紀子
3 学年	41
	三加茂中学校 細川 誠治
	山川中学校 横田 正紀
	木頭中学校 矢野 典浩
	石井中学校 板橋 典子